

社団法人私立大学情報教育協会
平成 21 年度第 5 回会計学教育 FD/IT 活用研究委員会議事概要

- I. 日時 : 平成 21 年 12 月 14 日 (月) 午前 10 時から午前 12 時まで
II. 会場 : 私立大学情報教育協会 会議室
III. 出席者 : 岸田委員長 (司会)、河崎、木本、松本各委員、
井端事務局長、森下、恩田

IV. 報告事項

第 4 回委員会での学士力 (案) を含め、各委員会の学士力についての案をまとめ、平成 21 年 11 月 25 日に、本協会による分野別教育「学士力考察」の報告・提言が公表された。

V. 検討事項

1. 具体的検討事項

事務局から、本日の委員会にむけて、分野別情報教育として、会計学の情報教育の到達目標、学生が身につけてほしい情報活用力と技術力、知識、技能等、また教育方法と内容などを事前に検討願いたいと依頼した。

各委員からのコメントをもとに意見を集約した結果、会計系領域では (1) 会計情報作成 (2) 会計情報利用の視点から、情報教育を検討すべきとの結論に達した。

また、検討する事項として、大まかに①到達目標②到達度③教育内容④教育方法⑤到達度確認の測定手段、を掲げた。しかしその内容についてはさらに検討すべきとの意見が多く、次回までに委員長が論点を整理し、各委員の意見を集約することとした。

なお、この検討は次回までに完了させるとの方針を確認した。なお、参考として出席委員の意見を次にまとめる。

(1) 会計情報作成に関連する事項

到達目標

コンピュータを活用して会計情報が作成できる

到達度

- ① 会計情報システムにデータ入力ができる
- ② 会計システムを用いて決算書が作成できる
- ③ 会計情報システムを設計できる

教育内容

次回までに確定させる

教育方法

次回までに確定させる

到達度確認の測定手段

客観性をどのように担保するか
演習や事例分析により測定可能か

(2) 会計情報利用に関連する事項

到達目標

コンピュータを活用して会計情報が利用できる

到達度

- ① コンピュータを活用してデータを収集できる
- ② コンピュータを活用してデータを整理分析できる
- ③ コンピュータを活用して分析結果を報告できる

教育内容

次回までに確定させる

教育方法

次回までに確定させる

到達度確認の測定手段

次回までに確定させる

2. 今後の予定

次回までに、論点を整理するため、委員長から各委員に検討事項を依頼することとした。

3. 次回の委員会

平成 22 年 2 月 16 日 (火) 午前 10 時～午後 0 時 30 分 私情協事務局

以上